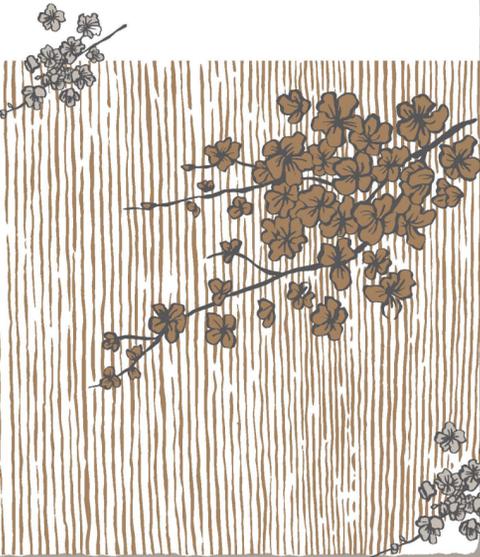


和風麗屋 老屋光陰故事

日式老建築

台南有故事



台南の旅行サイト



台南の旅行アプリ



24時間の旅行情報
オンライナービス



台南のホテル検索サイト



バスの運行状況検索



バス運行状況検索

観光案内所

- 1 新營駅観光案内所
06-6378821
台南市新營区中山路1号
- 2 台南駅観光案内所
06-2290082
台南市東区北門路二段4号
- 3 台南空港観光案内所
06-3359209
台南市南区空港路775号
- 4 台湾高铁台南駅観光案内所
06-6008338
台南市歸仁区歸仁大道100号
- 5 左鎮月世界観光案内所
06-5730061
台南市左鎮区岡林里31号
(前岡林分校)
- 6 徳元埤観光案内所
06-6231896
台南市柳営区神農里新厝100号
- 7 無米寮観光案内所
06-6622725
台南市後壁区菁寮75号
- 8 安平観光案内所
06-2281382
台南市安平區安平路790号

2018.10 広告



日本統治時代の面影を留める台南

ヨーロッパ、中国、日本の文化の洗礼を受けてきた台南市。300年以上にわたるその歴史は、そのまま台湾文化史に等しく、その街並みは多元的でどこか懐かしい風貌を呈しています。街を歩けば、そこかしこで古いお寺や廟、代々受け継がれてきた旧家に出会えます。歳月を刻んだ古い建物を訪れ、そこで紡がれた物語に耳を傾ける。それはまさに、台南ならではの旅の楽しみ方。日本風の建物、レンガ造りの洋館、中国風の建物、ここ台南にはその全てが揃っています。台南を訪れて、近代建築を堪能し、現代社会に溶け込む芸術を味わってみてください。

おすすめルート

- 台南文化創意産業園区 約1km / 徒歩13分 → 旧台南公会堂
- 約180m / 徒歩2分 → 醬料理 約250m / 徒歩3分 →
- 旧台南州庁(台湾文学館) 約150m / 徒歩2分 →
- 旧日本勸業銀行台南支店 約100m / 徒歩1分 → 林デパート
- 約250m / 徒歩4分 → 旧山林事務所(葉石濤文学記念館)
- 約100m / 徒歩1分 → 武徳殿 約200m / 徒歩2分 → 愛国婦人館
- 約1.5km / 徒歩20分 → 水交社宿舍 約3km / 車で9分 →
- 旧台南県知事官邸 約1.5km / 徒歩15分 → 成大博物館



台南文化創意産業園区

台南文化創意産業園区は、古跡を活用した文化創造の基地、アートスポット、展示会場、芸術活動の場として、新たに誕生しました。ここは日本統治時代、台湾總督府専売局台南支局、後の台湾省菸酒公賣局台南支局(タバコとお酒の専売局)だった建物で、台南県全域にタバコとお酒を専売する業務を担っていました。赤レンガ造りの建物は、四角いシンプルな構造で、U字型に配され、切妻屋根の中央玄関は、ヨーロッパ風の装飾が施されています。レトロな香り漂う台南文化創意産業園区は、アーティストの創作意欲を掻き立てる場、市民が気軽に芸術に触れられる憩いの場となっています。

- 1 在来線の台南駅から徒歩1分
- 2 台南市東区北門路二段16号
- 3 06-222-2681
- 4 平日11:00~21:00・休日(連休)10:00~22:00
- 5 月曜休館



旧台南公会堂

台南公会堂は1911年に建設されましたが、ここにはもともと、地元の名士であった吳尚新氏が造った中国風庭園「吳園」がありました。園内には山や池が配され、閩南風の建物や東照、珊瑚石を用いた漳州(中国福建省南部の都市)の飛來峰を再現したものがあり、静かで心癒す空間でした。日本統治時代の飛來峰を再現したものがあり、静かで心癒す空間でした。日本統治時代の飛來峰を再現したものがあり、静かで心癒す空間でした。日本統治時代の飛來峰を再現したものがあり、静かで心癒す空間でした。

- 1 台南文化創意産業園区から徒歩約11分
- 2 台南市中西区民權路二段30号
- 3 06-228-9250
- 4 08:00~22:00



醬料理

1923年、昭和天皇が皇太子でいらした時に台南を行啓され、知事官邸にご宿泊された折、どくに指定されたお食事をご用意されたのが「醬料理」です。その建物は、修復され2013年12月24日、正式に公開されました。広々とした優雅な空間と風通しの良い伝統的な日本建築を再現するとともに、旧料亭「醬料理」の再現、のれん、包丁等の関連文物を展示しています。2015年には、台南市で初めて記念的建築物に指定され、市の文化財(同)に指定され、その空間を有効活用するために公開入札を行い、落札した運営業者(阿國飯店グループ)は、その後2年の歳月をかけて失われていた旧料亭の「表棟」を新たに再建し、「醬園食肆」として、階は軽食や飲み物の販売、2階はガラーナスペースとして利用しています。

- 1 柳屋より徒歩約4分
- 2 台南市中西区忠義路二段84巷18号
- 3 10:00~21:00
- 4 06-221-0595



旧日本勸業銀行台南支店

日本勸業銀行は、日本統治時代に台北と台南に支店を開業し、土地を担保にした貸付業務を行っていました。1937年に完成した台南支店の建物は、モダニズム風のデザインを採用した洋館であり、トリー式の柱が特徴で、柱の上部には花や大黒天の彫刻が施されています。全体がレンガ造りで、細部にわたって彫刻が施されています。全体がレンガ造りで、細部にわたって彫刻が施されています。全体がレンガ造りで、細部にわたって彫刻が施されています。

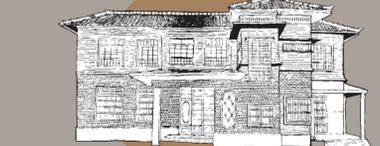
- 1 台湾文学館より徒歩約2分
- 2 台南市中西区中正路28号
- 3 06-226-5211
- 4 09:00~15:30
- 5 土曜・日曜休館



旧山林事務所(現葉石濤文学記念館)

葉石濤は、戦後台湾を代表する文学評論家です。代表作の一つである『臺灣文學史綱』は、台湾で初めて台湾文学を大体系的に整理したものと高く評価されています。葉石濤文学記念館の建物は、1925年に建てられた「山林事務所」です。二階建てで、壁面はレンガと洗出しが組み合わされ、一階には格子窓、二階にはアーチ窓がはめられ、優美で趣のある設計となっています。館内では、葉石濤の生涯や代表作が紹介されているほか、直筆の原稿も展示されており、優雅で味わい深い洋館内に漂う文学の香りが、訪れる人の心を豊かにしてくれます。

- 1 林デパートより徒歩約4分
- 2 台南市中西区友愛街8-3号
- 3 06-221-5065
- 4 水曜~日曜09:00~17:00
- 5 月曜・火曜・大晦日休館



愛国婦人館

愛国婦人館は、1901年に日本で設立された婦人団体で、兵士の慰問、遺体の救済を目的とした団体でした。この愛国婦人館は、愛国婦人会台南支部によって1940年に建てられた建物で、日本統治時代の空軍兵士の宿舎として使われていました。およそ80年の歴史がある空軍兵士の宿舎は、昔の風情がそのまま残されており、当時の周りは緑が配され、空襲と防空気象をよくするための備えが施されています。水交社跡地は現在、「藝文文化園区」となっており、生活、グルメ、芸術文化サロン等8つのテーマ館が、訪れる人にかつての面影を見えています。「天文航空宇宙小組美術倶楽部」では、空軍のサンダーボーイ(アクロバット飛行チーム)の逸話を知ることができます。

- 1 忠義國小(忠義小学校) 武徳殿から徒歩約2分
- 2 台南市中西区府前路一段197号
- 3 06-214-9510
- 4 09:00~17:00
- 5 (旧層の大晦日休館)



旧台南県知事官舎

1900年に落成した旧台南県知事官舎は、もともとはその名の通り知事官舎として使われていましたが、後に迎賓館として使用され、1941年までに、多くの皇族の方々をお迎えしました。1923年に当時の皇太子殿下(後の昭和天皇)が台南を訪れた際にも、こちらにお泊りになりました。広々としたバロック風の洋館は、中央と両側に八角形の回廊で、内部の装飾は大変きらびやかなものでした。皇族の方々をお迎えするにふさわしい装飾を備えた建物です。

- 1 水交社宿舍から徒歩30分
- 2 または、小西門というバス停から紅2線のバスに乗り、東門廣場で下車、徒歩約4分
- 3 台南市東区衛民街一号
- 4 06-236-7000
- 5 10:00~18:00
- 6 月曜休館



旧台南州庁(現台湾文学館)

台湾文学館の前身、台南州庁が落成したのは、日本統治時代の1916年でした。戦後、空軍の司令部などに転用された後、何度かの修復を経て、台湾文学館の研究研究成果が展示される台南初の国立文学館としてオープンしました。レンガ造りの建物ですが、所々に石材と洗出しの技法が用いられており、クラシックでバリエーションのたれ美しい建物です。

- 1 醬料理より徒歩約3分
- 2 台南市中西区中正路1号
- 3 06-221-7201
- 4 火曜~日曜09:00~21:00
- 5 月曜休館



林デパート

林デパートは、台南の人々に「五樓雜子」という愛称(5階建てビルという意味)で呼ばれ、親しまれてきました。台湾で2階目には「デパート」であり、1932年のオープン当初は台南で最も有数の高級ビルでした。内装はかたまりモダンで、当時まだ珍しかった、手動開閉式の冷蔵庫がついたエレベーターも設置されていました。屋上には「未だ社」という小さな園があり、当時大変話題になりました。林デパートは、2014年に建物の修復工事を終えて新たにオープンし、1階「台南好客館」には台南のお土産が、2階「台南好客館」にはアイデア商品が、他の階にも「台南好客館」、「台南好文化」というテーマでファッション雑貨や生活雑貨などが並んでいます。古い建物が新たなグッズの誕生やスポットの再生を呼び起こした例として話題となっています。

- 1 旧日本勸業銀行台南支店より徒歩約1分
- 2 台南市中西区忠義路二段63号
- 3 06-221-3000
- 4 11:00~22:00



武徳殿

台南の孔子廟に隣接する武徳殿は、1936年に建てられました。もともとは警察官の統制等伝統武術の訓練の場として用いられていましたが、現在は忠義小学校の講堂として使われています。武徳殿は、日本の伝統的な寺社建築と同様の構造ですが、鉄筋コンクリートと洗出しの技法が用いられており、和洋折衷の工法である点が特徴となっています。屋根は木造瓦葺り、建物の周りには回廊がめぐらされており、二階の西側は武徳殿、東側は講堂として使われ、外には駐車場もあつたようです。緑に囲まれた静かな空間に保存された武徳殿を見ると、思わずタイムスリップしたかのような錯覚に陥るかもしれません。

- 1 葉石濤文学記念館から徒歩約1分
- 2 台南市中西区忠義路二段2号(忠義小学校内)
- 3 授業時間外のみ見学可



水交社宿舍

ここは、旧日本海軍によって公認されていた唯一の将校クラブ「水交社」があった所です。日本統治時代の台南空軍が落成すると、付近には旧日本海軍航空隊兵士の宿舎が建てられ、戦後はそのまま台湾の空軍兵士の宿舎として使われていました。およそ80年の歴史がある空軍兵士の宿舎は、昔の風情がそのまま残されており、当時の周りは緑が配され、空襲と防空気象をよくするための備えが施されています。水交社跡地は現在、「藝文文化園区」となっており、生活、グルメ、芸術文化サロン等8つのテーマ館が、訪れる人にかつての面影を見えています。「天文航空宇宙小組美術倶楽部」では、空軍のサンダーボーイ(アクロバット飛行チーム)の逸話を知ることができます。

- 1 愛国婦人館から徒歩約20分
- 2 または、在来線の台南駅から2、5、15、0左、0右のいずれかの大台南公車(大台南バス)に乗り、家齊女中バス停で下車、徒歩10分
- 3 台南市南区健康路、西門路、大成路及び南門路の辺り一帯



成功大学博物館

現在の国立成功大学の前身は、日本統治時代の台湾總督府台南高等工業学校です。そのため、大学構内には日本統治時代の建物が数多く残っています。赤レンガアーチの講堂、歴史学講座などの古跡が点在する構内を訪れ、100年前にタイムスリップしたような錯覚に陥るかもしれません。工業学校時代に行政センターだった建物も、現在、成大博物館として公開されており、収蔵品が展示されています。また、各学科の研究結果、取組品等も展示されています。人気映画『愛情無全順』の撮影もこのような古風なキャンパスが背景に入り、映画の中にある7つのシーンで成功大学で撮影されました。

- 1 旧台南県知事官舎から徒歩約15分
- 2 台南市東区大学路1号
- 3 成功キャンパス
- 4 06-275-7575
- 5 06-275-7563020
- 6 10:00~17:00
- 7 月曜及び春節の期間休館

古民家と旅する時空

八田與一は台湾の水利事業の父と呼ばれる人物で、日本統治時代、他の日本人技術者とともに嘉南大圳(嘉南地域で造られた水利施設)と烏山頭ダムを建設しました。日本人技術者達のかつての宿舎は、時空を超え、往時の物語を今に留めています。1911年に創立された菁寮小学校(日本統治時代、台湾の子供たちが通った公立小学校)は、現在、菁寮國小(菁寮小学校)となっており、当時から使われている講堂と太陽の光降り注ぐ古い木造校舎は、訪れる人にその歴史を感じさせます。

- 1 菁寮小学校 台南市後壁区墨林里282号
- 2 06-6621271
- 3 黄6の大台南公車(大台南バス)に乗ると、校門前に着きます。
- 4 年間を通じて開放されていますが、子供たちの授業の妨げにならないよう、休日は放課後の訪問をお願いします。
- 5 入場無料
- 6 八田與一記念園区 06-698-2103
- 7 木曜~火曜09:00~17:30
- 8 毎週水曜休館(水曜が祝日の場合は木曜休館)
- 9 大人200円・子供120円



懐かし味、駅頭アイス



菁寮小学校中正堂

1950年に建てられた中正堂は、菁寮小学校の講堂です。日本の木造建築の工法を用いた建物で、正面の妻壁には、美用と装飾を兼ね備えた3つの小さな丸窓が取り付けられています。



菁寮小学校事務室

1956年に建てられた木造の事務室は、中正堂と同様、台湾の戦後初期建築を代表する建物です。入口の部分には格子がはめられており、細部まで趣ある細工が施されています。

八田與一郎

八田與一は、嘉南大圳(嘉南地域で造られた水利施設)と烏山頭ダムを建設した八田與一とその家族が住んだ家です。西側は洋間で、奥の書斎として使われていたようです。北側には庭があり、そこには台湾の形をした池があります。



赤堀邸

赤堀邸は、もともとは機械係長であった蔵成信の家でしたが、後に烏山頭出張所所長赤堀信一の住居となりました。赤堀信一の長女綾子は、後に八田與一の長男に嫁ぎました。



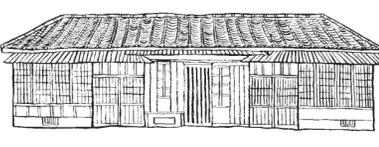
阿部宅

阿部貞壽は、堰堤係長を経て、後に烏山頭出張所の所長となった人物です。阿部邸は和風の造りで、貞壽の離職後はガスハウスや寮として利用されていました。

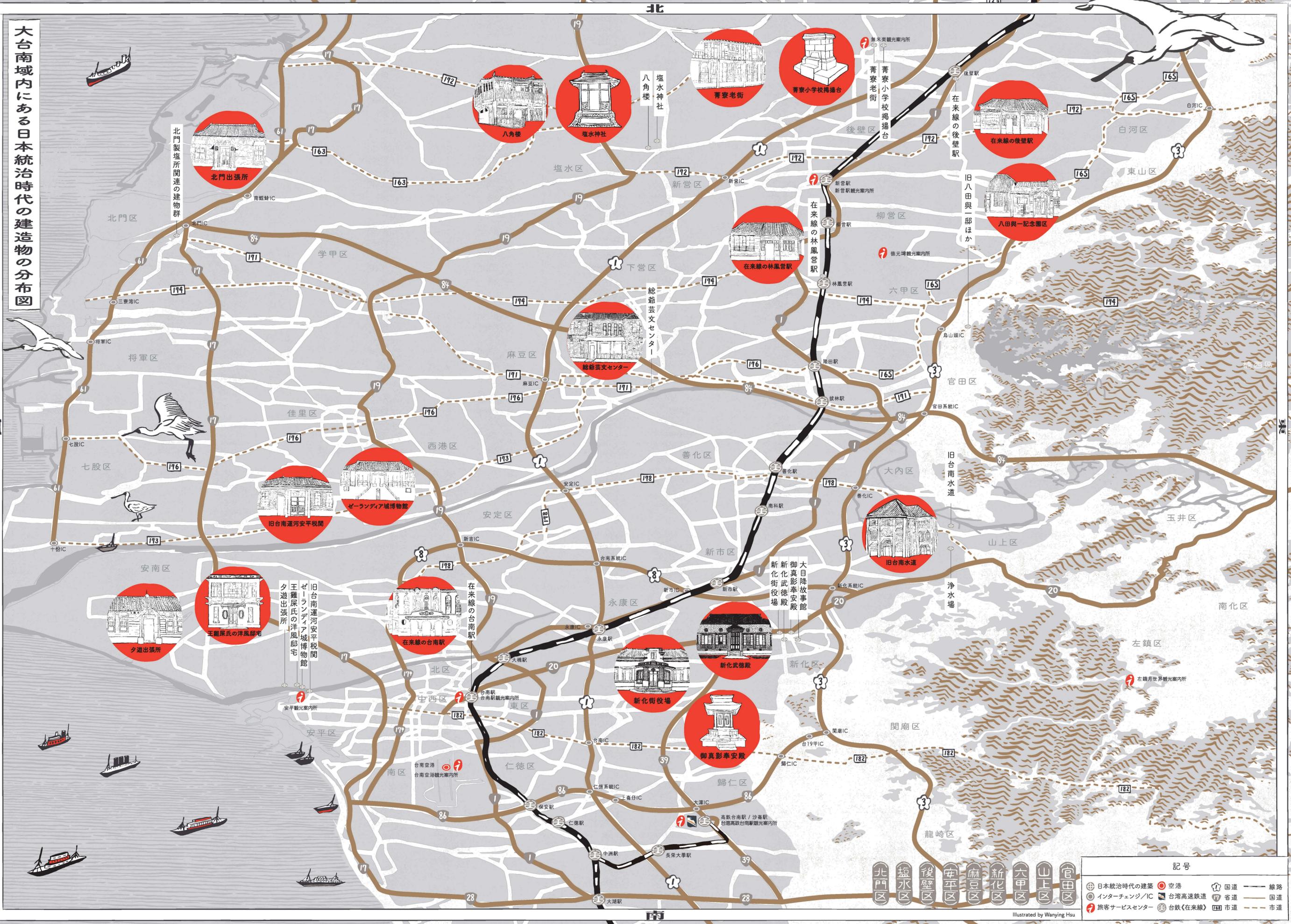


市川邸、田中邸

機械技師の市川勝次と田中義一の住宅は、二軒長屋です。それぞれに玄関が設けられているため、プライバシーは守られていたようです。



大台南域内にある日本統治時代の建造物の分布図



- 記号
- ⊕ 日本統治時代の建築
 - ⊙ インターチェンジ/IC
 - Ⓜ 旅客サービスセンター
 - ✈ 空港
 - ⚡ 台湾高速鉄道
 - Ⓜ 台鉄(在来線)
 - Ⓜ 国道
 - Ⓜ 省道
 - Ⓜ 市道
 - Ⓜ 線路
 - Ⓜ 国道
 - Ⓜ 市道

Illustrated by Wanying Hsu